



第15回上田八木・金融政策サーベイ(2017年10月)

発表日：2017年10月27日(金) 14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年10月24～26日
調査先	197先
回答率	91.3%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月30日～10月31日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+1
不変	99	100	▲1
引締	0	0	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	0	▲1

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	92	97	▲5
上昇	6	2	+4
短期金利予想DI	+4	+1	+3

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
低下	0	2	▲2
不変	91	88	+3
上昇	9	10	▲1
2年国債金利予想DI	+9	+8	+1

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
低下	4	1	+3
不変	82	80	+2
上昇	14	19	▲5
10年国債金利予想DI	+10	+18	▲8

質問(Q5) 現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント)からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回9月19日)	変化幅
1. 1年未満	4%	7%	▲3%
2. 1年以上3年未満	63%	64%	▲1%
3. 3年以上	33%	29%	+4%